

「発達障がい児が運動するための 環境づくり及び スポーツボランティアの養成事業」

報告書



Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

目次

1.はじめに	
2.目的	2
3.効果	2
4.事業概要	3
(1)苦手イベント開催	
①「運動が苦手な子」水泳講習開催	
②「運動が苦手な子」スポーツ大会	3
(2)教室への参加促進	4
①ボランティア募集チラシ	
②スタッフTシャツ	5
(3)安全研修・実技講習会の開催	6
①CPR&AED講習会の開催	
②スポーツボランティア技術講習会の開催	7
(4)活動報告会の開催	8
<ボランティアの皆さん紹介>	
5.終わりに	29

1. はじめに

自閉症児の母親に頼まれて始めた『運動が苦手な子の教室』は19年が経ち、当時子どもだった子が今は立派な大人になって、この教室を手伝ってくれているようになりました。始めたときには思いもしなかったことですが、軽度の発達障がい者であれば、自分たちより小さな子どもたちの指導のお手伝いができるということもわかってきました。お手伝いに来る本人は、このことがとても生きがいになっているように思われます。また、そういう先輩がいることで、自分も大きくなったらお手伝いしようと思ってくれる後輩が増えていっています。

そして、多くの一般のボランティアに携わってもらうことで、お手伝いしてくれている軽度の発達障がい者の方がたちと交流して、さらに社会性を向上させていっていると思われます。

発達障がいの子どもたちの指導の手伝いをするためにお願いしているボランティアが、同じまたは上の年齢になる発達障がいのある人の助けにもなっているというように、ボランティアの位置づけも年数を重ねることで進化していっています。

自閉症・ADHD・LD・アスペルガー症候群など発達障がいの多様性はほかの障がいにはない特徴だと思います。そのためにもどのように接したらよいかから始まって、スポーツ指導マニュアルを作るのがとても難しいと感じています。

そのため、貴財団の助成で専門家による研修会が開催できることは、初めてのボランティアだけではなく、スタッフも含めて勉強になり大変指導に役立っています。また、毎年行わないといけないと思う安全研修(心肺蘇生・AED研修)もおかげさまで今年も開催できました。

今後もこの成果を生かして多くのボランティアを育成し、発達障がい者が生きやすい世の中になるよう頑張ります。

最後に、今回の助成事業にご協力いただきました関係者の方々に感謝の意を表してはじめてのことばとさせていただきます。

NPO 法人スマイルクラブ
理事長 大浜 あつ子

2. 目的

年々増える発達障がい児のスポーツ・運動指導教室『運動が苦手な子の教室』を始めて 19 年目となり、この教室には多くの学生がボランティアとして参加してくれている。中には学生だけでなく一般の参加も増えてきている。ボランティアのさらなる増加や資質向上、さらには障がいへの理解者を増やすことで、将来子ども達が社会に出た時の支援の充実を目指す。

3. 効果

1. ボランティア同士のネットワーク拡充

学生に加えて、社会人・主婦・退職者など様々なボランティアが参加し交流できたことにより、世代間でのボランティア参加の動機の違いや参加にあたっての課題などの相互理解が高まった。

2. 個人の思考力・活動力の構築と拡大

初めてのボランティア参加者も多く、障がい者スポーツの認知度を向上できたとともに、本事業を通じて普段接する機会のない人との関わりから人材育成へ繋がった。

3. さらなる発達障がい児(者)への支援体制の充実と社会的受け皿の拡充

今回の参加者は継続参加の意向が強く同様の活動を継続することで、東京オリンピック・パラリンピックでのボランティアとしての活躍につなげていくことができる。

<ボランティア人数推移>

2015 年度 214 人⇒2016 年度 218 人

4. 事業概要

(1) 苦手イベント開催

『運動が苦手な子の教室』・『チャレンジスポーツ教室』に来ている子どもたちを対象に水泳教室とスマイルスポーツ大会を開催。子どもたちと実際に関わる場を設けた。

①「運動が苦手な子」水泳講習開催

日 時	2016年8月1日(月)～8月3日(水) 9:30～12:00
場 所	柏市立柏高等学校
内 容	・三日間あるうちの初日にプールでの指導の注意点の確認。 ・実際にプールでの指導を子どもたちについておこなう。 ・最終日に学生に困ったことや感想を発表してもらう。

参加人数 49名

感 想
・最初は不安だったが少しずつ子どもたちが慣れてくれて嬉しかった。
・なかなか指示が通らなくて大変だったが良い経験が出来た。など



子どもたちをプールの中でサポート



参加してくれた学生の皆さん

②「運動が苦手な子」スポーツ大会

日 時	2017年1月8日(日)
場 所	柏市立柏の葉小学校
内 容	・子どもたちと一緒にチームに入り風船バレーと野球の試合を盛り上げる。 ・風船バレーのネットや野球道具の準備片づけ

参加人数 20名

感 想
・風船バレーでは小さい子から大人まで誰でも楽しめる競技で床に落ちないように転げまわってつい必死になってしまいました。野球は好きなこともありみんな上手でした。
・とても速いボールを投げるので、なかなかバットに当たらず当たっても遠くには跳ばなかったのが、すぐにアウトになってしまいました。子どもたちと一緒にスポーツを楽しめたことは私自身とても良かったと思います。



風船バレーの試合の様子



野球の試合の様子

(2) ボランティアの参加促進

普段の教室へのボランティアの参加促進のためにボランティア募集チラシを作成し、高校や大学へ配布した。教室へ来てくれたボランティアの皆さんが着用するスタッフ T シャツを作成し、配布した。

① ボランティア募集チラシ



②スタッフTシャツ



前



後ろ

(3) 安全研修・実技講習会の開催

① CPR&AED 講習会の開催

指導面で安全性を確保することは最重要であり、そのためにCPR(心肺蘇生法)及びAED(自動体外式除細動器)講習会を行った。CPR(心肺 蘇生法)の実技指導、AED(自動体外式除細動器)の講習を受けた。

講 師 荒井 宏和先生

流通経済大学准教授 日本赤十字社救急法指導員・ライフセーバー

日 時 2016年7月3日(日) 10:00~12:00

場 所 千葉県柏市立柏の葉小学校

参加人数 20名

感 想 ・毎年この講習を受けているが、忘れてしまっているところや一部変わっていると
ところもあり、毎年実施することの大切さを改めて実感しました。

・毎年実施していても、忘れてしまうし、いざ本物の負傷者を目の前にしてしまったら、頭の中が真っ白になってしまい何もできないのではないかと思います。

当クラブの発達障がいの子どもも参加できる『運動が苦手な子の教室』に通う子どもの中にはてんかん発作を持っている子どももいるため、発作で倒れてしまった時の気道確保の方法も教えていただいた。



荒井宏和先生の講習会の様子

②スポーツボランティア技術指導講習会の開催

普段人を楽しませる仕事をされている方を講師にお呼びし、コミュニケーションの取り方や人を楽しませる方法を学ぶ。

講 師 大棟 耕介氏(クラウンネーム K さん)
有限会社プレジャー企画 代表取締役会長
NPO 法人日本ホスピタル・クラウン協会理事長

日 時 2017年1月8日(日) 10:30~12:30

場 所 千葉県柏市立柏の葉小学校

参加人数 20名

感 想 ・人を楽しませるには自分がまず楽しまなければ相手を楽しませることなどできないということを聴き、教師や指導者は演じなければいけないということを教えていただきました。

・演じる際に主役は誰なのかを考え、その主役をいかに楽しませるか、主役だけではなく周りにいる人をどのようにして巻き込み主役以外の人をどのようにして楽しませるかなど、演じながらいろいろ考えていることはとても大変だろうと感じました。

自分はまだまだ演じることが出来ませんが、今後の指導の中で意識をしてやっ
ていこうと思いました。

大棟さんの今までの人生談をふまえ、人を楽しませる時、相手とコミュニケーションを取る時には自分自身が楽しいと思い、演じることが大切と教えていただいた。

コミュニケーションを取る時は相手に合わせたパフォーマンスをおこなうことを教えていただいた。



大棟耕介氏の講習会の様子

(4)活動報告会の開催

各教室やイベントでたくさん活躍してくださっているボランティアの皆さんが感じていることを発表し、交流する場を設けることにより共有することができると考えているため、当クラブでは年に1度このような体験発表会を開催しボランティアの意欲向上と今後の教室での活躍を期待しています。また、ボランティアの方から子どもたちとの関わり方や指導者の目線からでは気付かなかったことなどたくさんのことをスタッフも学ぶ良い機会となっています。

日 時 2017年2月19日(日) 19:00～21:00

会 場 柏市民交流センター 会議室 F

参加人数 14名

※報告会の参加者以外にも普段の教室にボランティアに来ていただいている方にも感想を記入していただきました。

<ボランティアのみなさん>

- ①玉木 幸次さん
- ②櫻井 利行さん
- ③井戸 勇喜夫さん
- ④安住 亜希子さん
- ⑤久保田 いずみさん
- ⑥松田 潮美さん
- ⑦柿木園 忍さん
- ⑧阿部 孝さん
- ⑨岡田 清美さん
- ⑩田之室 任さん
- ⑪出河 雄大さん
- ⑫廣瀬 紗季さん
- ⑬佐々木 純さん
- ⑭染谷 香織さん
- ⑮イダ・バグース・プトゥ・オカさん
- ⑯齋藤 真喜子さん
- ⑰小安 花織さん
- ⑱海田 泰子さん
- ⑲上嶋 陽佑さん
- ⑳安藤 楓さん

ボランティアの方々の感想

①玉木 幸次(たまき こうじ)さん



ボランティアを始めたきっかけは？

定年を機会にインターネットで探していて、自宅の近くで教室をやっているため、参加したのがきっかけ。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

子どもたちと楽しく運動することができ、自分自身も健康になったように感じ、とても嬉しく思った。

ボランティアをやっていて困ったことは？

特にない。

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

思ったより多くの子どもが、運動障がいや発達障がいのある子どもで驚いた。スマイルクラブがいろんな形で障がいの方たちを支援できる仕掛けをこれからもやっていただきたい。

その中で、健康が続く限り大穴小教室をお手伝いさせていただきたい。

②櫻井 利行(さくらい としゆき)さん



ボランティアを始めたきっかけは？

定年退職後の運動不足を解消する手段を探していたところ、運動が苦手な子どもたちの運動サポートする団体があることを知り、当団体を通して運動不足解消のためのボランティアをおこなうきっかけとなった。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

発達障がい児が運動をする場合の全身全霊を傾注し、一生懸命おこなおうとする姿勢と運動ができた時の喜びを全身で表現する姿を見て嬉しく思いました。

ボランティアをやっていて困ったことは？

ボランティアとして接している時にこちらの意図が伝わらず、どのようにしたら、意思疎通ができるのか非常に悩むことがあった。

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

相手に意志を伝える場合は、ゆっくりと大きな声で簡潔な言葉で話すことが大切です。

上手く出来ないのはこちらの責任であり、上手く出来たのは相手のやり方がよかったからと思うことが大切。

③井戸 勇喜夫(いど ゆきお)さん



ボランティアを始めたきっかけは？

ボランティアと自信を持って言えるような活動はしていないが、スマイルクラブの催しに参加したことが始まり。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

青少年(特に低学年)の活動の手伝いをしたことが初めての経験だったので、楽しかった。

ボランティアの皆さんと会って、顔を見てお話できることが楽しい。

ボランティアをやっていて困ったことは？

絶対量が少ないので困ったことは特にまだない。しかし、年齢からくる体力の低下があるので、あまりエネルギー(筋力)の必要な活動は難しそうと心配している。

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

社会への参加の必要を感じている。
色々のケースのボランティアをこれから経験し体力の続く限りチャレンジしたい。

④安住 亜希子(あずみ あきこ)さん



ボランティアを始めたきっかけは？

スマイルクラブのバレーボール教室にて、いろいろなボランティアの話を聴き、バレーボールにもフロアバレーやデフバレー、IDバレーなどがあり興味を持ち参加するようになったのがきっかけ。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

普段、触れ合うきっかけがあまりない方たちと知り合えたことが楽しい。

ボランティアをやっていて困ったことは？

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

障がい者の方々と関わる時に自分が垣根を作ってしまうと相手も近寄りづらくなるため、普通に接すればよいことを学んだ。

今後、街中で困っている障がい者の方々に声をかけられると良いと思っている。

⑤久保田 いずみ(くぼた いずみ)さん



ボランティアを始めたきっかけは？

スマイルクラブのバレーボール教室で案内をもらって、周りが参加していたので興味はあったが、自分で行くまでの1歩が難しく、スマイルクラブを通してボランティアを始めた。

今回は東京オリンピック・パラリンピックがあり、パラリンピックに出られたらいいと思い、講習会に参加したのもきっかけ。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

他のボランティアの人との出会いがあることが楽しかった。

ボランティアをやっていて困ったことは？

デフバレーボール(聴覚障がい者)の体験会に参加した際に手助けの加減がよくわからなかった。

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

講習にたくさん参加したので次は、実践に多く参加したい。
娘を参加させたい。

⑥松田 潮美(まつだ しおみ)さん



ボランティアを始めたきっかけは？

児童の福祉関係の仕事に就きたいと思い、働く前に児童と関わる経験が必要だと思い、ボランティアを始めた。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

子どもたちと一緒に試合や一つのことをおこない、「勝てたね、負けちゃったね」などと一緒にやれたことが楽しかった。

ボランティアをやっていて困ったことは？

接し方や声のかけ方がわからないことも多く、特に年齢が上になればなるほど、男の子への接し方に戸惑いがある。

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

教室だけではなく、いろんなイベントもあり、普段出来ないこともたくさんでき、良い経験になっていると思う。

もともと自分から動く方ではないが、人と関わるのに自分から動いていかなくてはいけないと思った。

いつまで続けられるかはわからないが、もっと自分から積極的に声かけや動けるようにしていきたい。

⑦柿木園 忍(かきのきぞの しのぶ)さん



ボランティアを始めたきっかけは？

定年退職を迎えたことをきっかけに、地域社会で何をしようかと考えた時に、自分の選択しの中にボランティアがあり、セカンドライフの充実がきっかけとなった。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

新しい人や社会の人との繋がり、職種は千差万別、自分が経験したことのない経験をされている方と知り合え、話ができることが1番の楽しみ。

障がいの子たちと会った時や一つのプレーをした時の子どもたちの笑顔や見守っている保護者や祖父母の笑顔を見ること。

ボランティアをやっていて困ったことは？

障がいのある人たちがスポーツをすることを知らない。

また、スポーツボランティアの認知度が低い。

スペシャルオリンピックス(知的障がい):15~17%

パラリンピック:95%

デフリンピック(聴覚障がい):5~9%

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

障がい者スポーツボランティアの確保と拡大を目指す。

地域自治体との協働イベントの開催。

⑧阿部 孝(あべ たかし)さん



ボランティアを始めたきっかけは？

何か社会の役に立つことがしたかったので、2011年の東日本大震災では、何もできなかったがその翌年から少しずつボランティアを始めたのがきっかけ。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

初めて、子どもたちのサポートをしたにも関わらず子どもたちが喜んでくれたことが楽しかった。

ボランティアをやっていて困ったことは？

大声を出し、体育館内を走り回る子どもに対してどのように接して良いかわからなかった。

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

<学んだこと>

1時間の運動支援だけでも大変なことなのに親は24時間寄り添うため、大変だと痛感。

<目標>

クラスを運営できる技能を習得すること。

⑨岡田 清美(おかだ きよみ)さん

ボランティアを始めたきっかけは？

何となく興味があり、やってみたかったので始めたのがきっかけ。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

いろいろな方(スタッフや会員など)と接することが出来たことと、教室でのお手伝いで子どもたちの成長を感じることができたことが楽しい。

ボランティアをやっていて困ったことは？

言葉遣いや態度がどうしたらよいか、あっているのか不安になってしまう時がある。

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

自分にとってとても良い経験が出来ていると思う。

何が学んでいるかはわかりませんが、これからも自分にできることや参加出来る機会があればどんどん参加していきたい。

⑩田之室 任(たのむろ ひで)さん

ボランティアを始めたきっかけは？

アシスタント講習会に出席したことがきっかけ。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

バレーボール教室のお子さんたちの成長を感じられ、スマイルクラブのスタッフが丁寧に紹介してくれたこともあり、お子さんたちがみんな仲良くしてくれることが楽しい。

ボランティアをやっていて困ったことは？

慌ててしまい、上手く言葉で子どもたちに伝えられない時があるので、そのようなときに困ってしまう。

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

心配し過ぎなくても子どもたちはできることが増えていくので焦らず見守っていけば良いことを学びました。
今後は必要な手助けが何かを早く見抜けるようになりたいと思っている。

⑪出河 雄大(でがわ たけひろ)さん



ボランティアを始めたきっかけは？

大学の実習がきっかけで、実習後ボランティアとして教室へ来た。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

大変だったこともあるが、子どもたちが跳び箱などで1段でも高い跳び箱を跳べた時の達成感を一緒に喜んであげられることが楽しかった。

ボランティアをやっていて困ったことは？

実習の時に上手く身体を動かさない子がいたり、考えていることが伝えられなかったりする子が多い中で、いかに教える側がその子たちの先頭に立ち教えるということが大変だった。

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

障がいがあるだけで、少しの時間をかけて教えれば、健常の子のようにできるようになるし、そのためには教える側が親身になり、教えてあげることが大切だと思った。

これを何かの形で将来にいかしていければと感じている。

⑫廣瀬 紗季(ひろせ さき)さん



ボランティアを始めたきっかけは？

スマイルクラブスタッフの大島さんより紹介があり、それがきっかけ。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

普段成人の方との作業や、日中活動で関わっているので、利用者さんといっても年齢も徐々に高齢化しているので成長した部分はお子さんとは違いほんの少し、ほんと寝たきりで“今日は歩けた”“今日は歩けなかった”という日々の中で、過ごしているのでボランティアに参加して子どもたちと触れ合って成長が見られることが楽しい。

笑顔で子どもたちから話しかけてくれることが新鮮。

ボランティアをやっていて困ったことは？

仕事との両立でボランティアに参加しているため、なかなか協力ができないが、できる範囲で行きたいと思っている。

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

今の職場でスマイルクラブの講習会に参加して学んだことを活かしていきたい。

自分のステップアップもスマイルクラブのステップアップも出来ればと思っている。

⑬佐々木 純(ささき じゅん)さん



ボランティアを始めたきっかけは？

今まで色々やってきたが、「行ってあげている」「ボランティアやったぜ」の感覚でやっていたが、鬼怒川の反乱の際にがれき撤去や水を掻きだす作業だったがとても感謝されたことで、何かのために行くというよりは被災した方を思ってやるのが大事ということに考えややり方が変わった。

その仲間の中に以前、スマイルクラブで活動していた人が中学の友人にいて、紹介されたことがきっかけ。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

改めて体を動かす楽しさに気付くことができた。

ボール 1 つ投げただけでワイワイ楽しめることや小学校の時に戻った気分にもなれるし全力と一緒に走ってみる機会も普段ないのですごく楽しい。

ボランティアをやっていて困ったことは？

参加したいが、時間がなかなか取れないため、参加できず、仕事との兼ね合いが上手く出来ていないのでできる時はしたい。

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

自分への今の仕事に活かしていきたいと思う。

医療立場として何か力になりたい。

⑭染谷 香織(そめや かおり)さん



ボランティアを始めたきっかけは？

高校3年生の時の水泳教室から「運動が苦手な子の教室」へ行き始めたことがきっかけ。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

- ・「先生」と呼ばれること。
- ・子どもたちの笑顔が見られること。
- ・子どもたちの成長(1年前にできなかったことができる etc)が見られる。
- ・さまざまな子どもたち、スタッフさんとの関わり、素敵な出会いもあったことが楽しい。

ボランティアをやっていて困ったことは？

人見知りのため、最初は接し方に困った。

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

相手の行動が何を意味するのかを考え、相手の頭(視点)に入り込むことを学んだ。

また、イライラすることもあったがそれは相手が何かを考え、動いていることなので、そのようなことを考えていく。

仕事が忙しく、なかなか参加できないがこれからも続けていく。

⑮イダ・バグース・プトゥ・オカさん



ボランティアを始めたきっかけは？

Basically because I want to know and learn the social and cultural of Japan.

日本の社会や文化について知り、学びたいと思ったから。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

I can join or interact in the game and get to know the live of Japanese children.

私は、日本の子どもたちと試合に参加すること、対戦することができて楽しい。

ボランティアをやっていて困ったことは？

So far , I don't have any problem with following the activites of volunteer , the only small factor is language barriers to talk with the children.

今までの中で、私はボランティアの活動には何の問題もないのですが、唯一小さなことでいえば、子どもと話す時の言葉に困っている。

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

For the short term , by following volunteer activities on smile club is possible to determine the social environment of Japan.

スマイルクラブでのボランティアに参加することで、日本の社会環境を知ることが出来る。

⑩齋藤 真喜子(さいとう まきこ)さん



ボランティアを始めたきっかけは？

子どもが好きで大浜理事長にお声を掛けていただいたことがきっかけ。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

子どもとコミュニケーションがとれた時や一緒に運動をしている時が楽しい。子どもが苦手としていたことが、時間をかけて頑張っている姿を見ている時。

ボランティアをやっていて困ったことは？

初めてのメニューの時の教え方やできない種目は興味がなく飽きてしまう子どもに対しての声掛け、自分の気持ちが子どもに伝わらないことが困っている。

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

子どもが理解するまで何度も同じことを教える忍耐力を身に付けること。
また、子どもたちとは同じ目線であることを学んだ。
目標として、運動を通して子どもたちが思いやり、助け合いができるようにしたい。

⑰小安 香織(こやす かおり)さん



ボランティアを始めたきっかけは？

身体を動かすことが好きなので、みんなで楽しく運動がしたいと思い始めた。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

みんなで野球やサッカーをして得点が決まった時や、長縄がたくさん跳べた時。

ボランティアをやっていて困ったことは？

今のところない。

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

始めは難しそうだな、自分にはできなそうだなという思いから「やりたくない」と言っている子ども、周りの先生たちに励まされて、練習してみようという気持ちになり、何度もやっている姿を見ると、本当はできるようになりたいという気持ちがあるのだなと思いました。

そうゆう気持ちに寄り添いながらサポートしていけるようになりたい。

⑱海田 泰子(かいだ たいこ)さん



ボランティアを始めたきっかけは？

娘がボランティアをさせていただいたことがあり、近くでボランティアできる教室があることを知り行って見たことがきっかけ。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

子どもたちと走り回り一つ一つ出来ると「やったー」と思えることが楽しい。

ボランティアをやっていて困ったことは？

初めての子どもに受け入れてもらえないことがあると困ってしまうことがある。

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

一人一人進みも違いそれぞれのスピードにこちらが合わせやっていきたいと思っている。

①9 上嶋 陽佑(じょうじま ようすけ)さん



ボランティアを始めたきっかけは？

大学1年の時、入学後少し時間に余裕ができ、何か新しいことを始めたいと思っていた時、母の友人に紹介していただいたのが、スマイルクラブだった。

それまで運動にほとんど関わってこなかったため、体を動かすことなく若干の不安はありましたが、自分の体を動かす良い機会だと思い参加するようになったのがきっかけ。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

子どもたちとともに運動するということ。もともと子どもが好きなので、子どもと関われるということ自体が本当に楽しく、教室が始まるまでのちょっとした遊びの時間や教室の中での運動で、子どもたちの笑顔や成長を間近で感じることができ、自分自身が子どもたちから元気をもらっている。

ボランティアをやっていて困ったことは？

どのようなサポートが必要なのを見極めること。子ども一人一人性格は違い、もちろん必要とするサポートも異なる。さらに、スポーツの種目によっても異なり、その日に子どもの気持ちによって変わってくることもある。

彼らが必要とする声かけや支援はどのようなものなのか、また現在の行動の背景にはどのようなものがあるのか、多様性をもつ彼らにどういったアプローチをしていけば良いのか、ボランティアを始めて4年が経つ現在もまだ模索中。

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

子どもたちと同じ目線で楽しむことが、彼らの心を開く一番の方法であることを学んだ。指導や支援というよりもまずは一緒になって活動しともに熱中することでスポーツの楽しさや、みんなと体を動かす喜びを伝えることができるのかなと思う。

また、スマイルクラブには多くの指導スタッフがあり、さまざまな指導テクニックを学ぶこともできた。指導する対象によっても、指導法も異なるので、教師を目指す自分にとっては非常に勉強になる。

今後の指導も、子どもたちとともに楽しく、“彼らのために何ができるか、何を伝えいかに伝えるか”を念頭において支援、指導をしていきたい。

⑳安藤 楓(あんどう かえで)さん



ボランティアを始めたきっかけは？

小学校教諭を目指しているので、子どもに関わるボランティアをしたいと思ったのがきっかけです。

そしてボランティアを体験してみて、子どもにスポーツを教えることの難しさを実感するとともに、できた時に見せる子どもたちの表情を見てやりがいを感じたので続けたいと思いました。

ボランティアをやっていて楽しかったことは？

子どもたちと運動をしていて、一生懸命やっている姿や、子どもたちができた時に嬉しそうにする姿を見るのが、楽しみです。

また、名前を覚えてもらえることや、運動を通して徐々に子どもたちとの距離が縮まっていくことに喜びを感じています。

ボランティアをやっていて困ったことは？

自分では当たり前におこなっていた各スポーツの細かい動きや、基本的な動きをおこなうことが難しい子どもに対して、それができるようになるための1つ1つの動作の説明や適切な指導の仕方がすぐに思い浮かばないことです。

ボランティアを通して学んだこと今後の目標は？

子どもたちにわかりやすい伝え方や工夫する点を実際に子どもたちと一緒に準備運動などをするなかで学ぶことができたとともに、運動を通して人との距離が縮まることを実感しました。

これからは、一人一人に合ったわかりやすい指導をし、運動を楽しんでいると感じてもらえるようにすることが目標です。

5. 終わりに

今回、日本財団の助成を受けて「発達障がい児が運動するための環境づくり及びスポーツボランティアの養成事業」をおこなうにあたってたくさんの方にご協力をいただき、無事に事業を終えることが出来ました。

この事業を通して各講習会やボランティア体験発表会などにおいてボランティアの方々同士の交流はもちろんのこと『運動が苦手な子の教室』を手伝ってくださっている方だけではなく『スポーツ教室』や『脳とカラダを鍛える教室』を手伝ってくださっている方々との交流も出来、そこで人のネットワークが広がり良い成果を残すことが出来ました。このようにさまざまな教室でボランティアとしてお手伝いをしてくださっている皆さんの存在が当クラブにとってはとても大切であるということを改めて実感しました。それだけではなく教室やイベントをおこなっていく中でボランティアの方々の感想や意見を発表する場を設けることによってスタッフが気付けなかった子どもたちの様子や声掛けの方法などを知ることができよかったですのではないかと思います。

また、2回の技術指導講習会をおこなったことで大学の先生からのお話だけではなくクラウンとして活躍をされている先生からのお話を聴くことができ、指導者のあり方を学び子どもとの関わり方や声掛けの仕方、指導の仕方が変わり今後の教室指導でもボランティアの方々の活躍の場が増えていくのではないかと考えています。

ボランティア体験発表会では今までは4・5人の発表を聴く形式での発表会だったが、今回は当日参加した人は全員に発表をしていただき、それだけではなく当日来ることが出来なかったボランティアの皆さんにも記入していただく形式に変えました。普段の教室の中ではあまり聴くことができない、ボランティアの方自身の想いを聴くことができ、今後の教室で子どもたちだけではなく、スタッフがボランティアの方々へのサポートができるのではないかと考えています。

今後もこの事業を基に講師の先生方から教えていただいた知識や技術を今後の教室の中でも取り入れながらプログラムを実施するよう心掛け、それだけではなくボランティアの方々の感じていることや関わり方も頭に入れておきまた新しく来てくれるボランティアの方々に伝えていきます。そして発達障がい児への理解者が増え社会的受け皿が増えるよう一人でも多くのボランティアを育成していきたいと考えています。

本事業にご多忙の中ご協力いただきました講師の先生方、各講習会へ参加いただきましたボランティアの皆様本当にありがとうございました。ぜひこれからも『運動が苦手な子の教室』をはじめとする他の教室や講習会・イベントでもご協力いただきますようよろしくお願い致します。

NPO 法人スマイルクラブ

スタッフ 大島由樹子

◆児童デイサービス事業 **スマイルスポーツ塾松戸**

TEL・FAX 047-705-7086

Homepage <http://www.smile-sports.jp/>

E-mail smilesportsjuk2@jcom.zaq.ne.jp

〒271-0076 松戸市岩瀬 611-1 ソルトリバー203



◆児童デイサービス事業「**スマイルスポーツ塾**」

TEL・FAX 04-7113-1407

Homepage <http://www.smile-sports.jp/>

E-mail smilesportsjuk@jcom.zaq.ne.jp

〒277-0005 柏市柏 5-8-16 柏ウェルズ'21 C号室



◆スポーツ、苦手、健康づくり「**スマイルクラブ**」

TEL 04-7169-4183 FAX 04-7169-3303

Homepage <http://smile-club-npo.jp/>

E-mail smile-c@jcom.home.ne.jp

〒277-0858 千葉県柏市豊上町 23-29

